

進行/再発 胃癌 HXP療法レジメン（シスプラチン抜き）

HER2陽性の切除不能な進行・再発胃癌 ハーセプチン+シスプラチン+ゼローダ併用療法

G-09-②

< 3週間間隔 × PDまで >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5～14日目	第15日目	第16～21日目	第22日目
治療内容									
検査	採血	○							○
診療	副作用の問診	○							○
	検査結果	○							○
治療中止基準	①WBC 3000未満 ②血小板 10万未満 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上	—	—	—	—				—
内服薬	ゼローダ初回量 1回 1000mg/m ² を1日2回朝夕食後 【2週間投与し1週間休薬】	↓ 夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝食後	休	↓ 夕食後
点滴	適正使用の観点からハーセプチンはゼローダ+シスプラチンとの併用療法で投与を開始することが推奨されている。併用療法が毒性により延期または中止された場合は、ハーセプチンを単独投与することができる。								
	①生理食塩液50ml ルートキープ用	↓							↓
	②ハーセプチン 6mg/kg +生理食塩液250ml（2回目以降） 初回で容認性良好であれば 点滴静注【30分以上】	↓							↓
	③生理食塩液50ml ルートフラッシュ用（全開）	↓							↓

ゼローダ減量時の1回投与量

体表面積	初回1回投与量（錠数）	減量段階1	減量段階2
<1.36m ² 未満	1200mg（4錠）	900mg（3錠）	600mg（2錠）
1.36m ² 以上1.41m ² 未満	1500mg（5錠）	1200mg（4錠）	900mg（3錠）
1.41m ² 以上1.51m ² 未満			
1.51m ² 以上1.66m ² 未満	1800mg（6錠）	1500mg（5錠）	1200mg（4錠）
1.66m ² 以上1.81m ² 未満			
1.81m ² 以上1.96m ² 未満	2100mg（7錠）		
1.96m ² 以上2.11m ² 未満			
2.11m ² <			

看護のPoint!!

アレルギー反応が、特に初回起こりやすい。投与中と投与後24時間以内は特に注意。

アレルギー反応＝発熱・悪寒・呼吸困難などの違和感など

初回投与時間は90分以上かければ問題ない。

初回投与で十分な容認性があれば（問題なければ）2回目以降の投与時間を30分間にできる。

ゼローダで皮膚障害や下痢の可能性ある。持参薬にワーマリンがあれば主治医に報告（ゼローダとの相互作用あり）

シスプラチンで腎機能が悪化した人が、ハーセプチン+ゼローダだけになってしまった患者さん。